



「やり取り」ってどんなもの？

新学習指導要領にある「話すこと[やり取り]」についての目標をまとめてみました。外国語活動と外国語科との違いを比べてみて下さい。

【目標】

外国語活動（3・4年生）	外国語科（5・6年生）
ア 基本的な表現を用いて 挨拶，感謝，簡単な指示 をしたり，それらに 応じたりする ようにする。	ア 基本的な表現を用いて， 指示，依頼 をしたり，それらに 応じたりすることが できるようにする。
イ 自分のことや身の回りの物 について， 動作を交えながら ，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて 伝え合うように する。	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄 について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて 伝え合うことができる ようにする。
ウ サポートを受けて ，自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりするようにする。	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて その場で 質問したり質問に答えたりして， 伝え合うことができる ようにする。

特に，5・6年生になると「できる」という表現になっています。慣れ親しむのではなく，できるようにさせないといけないのですね。また，「その場で」などに見れるように，3・4年生よりもレベルが高くなっています。